

授業科目名	看護展開論Ⅱ(ヘルスアセスメント)	担当教員	◎有家 香、休波茂子、鶴沢淳子、 中川泰弥、新川実穂	科目ナンバリング
必修	開講年次：2年前期	単位：2単位	授業形態：演習60時間	NF255

【授業概要】

人の成長、発達段階・健康レベルに応じたヘルスアセスメントの方法について学び、看護の対象の健康状態を判断するためにフィジカルアセスメントスキルを修得する。アセスメント技術を系統的に学び、発達段階と健康レベルに応じてアセスメント能力を修得する。

【達成目標】

1. 看護アセスメントの概念と必要な技術、視点について説明できる。
2. 看護アセスメントの枠組みによる系統的データ収集の方法について説明できる。
3. 紙上事例を通して、ゴードンの11の機能的健康パターンを用いたアセスメント、全体像の描写、問題点の抽出、看護計画の立案をすることができる。
4. フィジカルアセスメントの技術を用いて身体審査を行い、逸脱の判断をすることができる。

【履修条件】

原則、「看護展開論Ⅰ(ナーシングプロセス)」を修得していること。

【授業計画】

- |   |                  |
|---|------------------|
| [01] 看護ヘルスアセスメントの概念   | (有家)             |
| [02] 看護ヘルスアセスメントに必要な技術  | (有家)             |
| [03] 看護ヘルスアセスメントの視点(1)ゴードンの11の機能的健康パターン                             | (有家)             |
| [04] 看護ヘルスアセスメントの視点(2)身体機能的健康パターンのアセスメント                            | (有家)             |
| [05] 看護ヘルスアセスメントの視点(3)心理・社会機能的健康パターンのアセスメント                         | (有家)             |
| [06] 事例アセスメントの方法、事例アセスメント：健康知覚/健康管理パターンのアセスメント                      | (有家)             |
| [07] 演習：ヘルスアセスメントと「問診」  | (有家・中川・新川)       |
| [08] バイタルサイン、「呼吸機能のフィジカルアセスメント」                                     | (中川)             |
| [09] 「循環機能のフィジカルアセスメント」   | (中川)             |
| [10] 身体診査法(1)「呼吸系のフィジカルアセスメント」/身体診査法(2)「循環系のフィジカルアセスメント」/事例アセスメント   | (有家・中川・新川・休波・鶴沢) |
| [11] 身体診査法(1)「呼吸系のフィジカルアセスメント」/身体診査法(2)「循環系のフィジカルアセスメント」/事例アセスメント   | (有家・中川・新川・休波・鶴沢) |
| [12] 身体診査法(1)「呼吸系のフィジカルアセスメント」/身体診査法(2)「循環系のフィジカルアセスメント」/事例アセスメント   | (有家・中川・新川・休波・鶴沢) |
| [13] 身体診査法(1)「呼吸系のフィジカルアセスメント」/身体診査法(2)「循環系のフィジカルアセスメント」/事例アセスメント   | (有家・中川・新川・休波・鶴沢) |
| [14] 身体診査法(1)「呼吸系のフィジカルアセスメント」/身体診査法(2)「循環系のフィジカルアセスメント」/事例アセスメント   | (有家・中川・新川・休波・鶴沢) |
| [15] 身体診査法(1)「呼吸系のフィジカルアセスメント」/身体診査法(2)「循環系のフィジカルアセスメント」/事例アセスメント   | (有家・中川・新川・休波・鶴沢) |
| [16] 「消化機能のフィジカルアセスメント」   | (新川)             |
| [17] 身体診査法(3)「消化系のフィジカルアセスメント」/事例アセスメント                             | (有家・中川・新川・休波・鶴沢) |
| [18] 身体診査法(3)「消化系のフィジカルアセスメント」/事例アセスメント                             | (有家・中川・新川・休波・鶴沢) |
| [19] 身体診査法(3)「消化系のフィジカルアセスメント」/事例アセスメント                             | (有家・中川・新川・休波・鶴沢) |
| [20] 身体診査法(3)「消化系のフィジカルアセスメント」/事例アセスメント                             | (有家・中川・新川・休波・鶴沢) |
| [21] 「脳神経機能のフィジカルアセスメント」  | (有家)             |
| [22] 「運動機能のフィジカルアセスメント」   | (新川)             |
| [23] 身体診査法(4)「脳神経系のフィジカルアセスメント」/身体診査法(5)「運動機能のフィジカルアセスメント」/事例アセスメント | (有家・中川・新川・休波・鶴沢) |
| [24] 身体診査法(4)「脳神経系のフィジカルアセスメント」/身体診査法(5)「運動機能のフィジカルアセスメント」/事例アセスメント | (有家・中川・新川・休波・鶴沢) |
| [25] 身体診査法(4)「脳神経系のフィジカルアセスメント」/身体診査法(5)「運動機能のフィジカルアセスメント」/事例アセスメント | (有家・中川・新川・休波・鶴沢) |
| [26] 身体診査法(4)「脳神経系のフィジカルアセスメント」/身体診査法(5)「運動機能のフィジカルアセスメント」/事例アセスメント | (有家・中川・新川・休波・鶴沢) |
| [27] 「その他の身体各部のフィジカルアセスメント」   | (中川)             |
| [28] 血液検査データのアセスメント、看護実践への中範囲理論の活用                                  | (有家・中川)          |
| [29] 「看護過程とヘルスアセスメント」   | (有家)             |
| [30] ヘルスアセスメントの方法(技術確認)、事例アセスメント                                    | 有家・中川・新川・休波・鶴沢   |

【教科書】

1. 松尾ミヨ子他編集(2022). 基礎看護学(2) 基礎看護技術Ⅰ. メディカ出版.

【参考書】

1. 山内豊明(2011). フィジカルアセスメントガイドブック 第2版 一目と耳でここまでわかる. 医学書院.
2. 横山美樹(2020). はじめてのフィジカルアセスメント 第2版. メヂカルフレンド社.

【評価方法・評価基準】

筆記試験70%、技術確認試験10%、事例アセスメントレポート20%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業時に提示された課題の記述、事例アセスメントの記述  
事後学習：講義資料をもとに学習内容の復習、フィジカルアセスメント技術の練習

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ. 根拠に基づいた看護実践能力、VIヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

事例アセスメントレポートはその都度担当教員が評価をして返却をする。

【備考】

- ・この科目は、看護展開論Ⅰ(ナーシングプロセス)の理解が必要不可欠である。また事例演習で行われるアセスメントの記述が十分に行われていなければ、基礎看護学臨地実習Ⅱの受け持ち患者の理解に影響があるため理解を深めておく。